

桑名市社会福祉協議会における 福祉後見サポートセンター事業について

～平成28年度成年後見制度利用推進事業市町担当職員研修会～



桑名市社協
非公認キャラクター「しゃきょうちゃん」

平成28年9月2日

桑名市社会福祉協議会
本所地域福祉課 一戸勝史

本日、お話ししたいこと

1. サポートセンターを開設した経緯 (今までの流れ)
2. 市民後見人養成事業について
3. 現状の課題と今後に向けて

桑名市の現状

1. 市長申し立て件数の推移と受任者内訳

年度	市長申立件数	弁護士	司法書士	行政書士	社会福祉士	社会福祉協議会
平成23年度	5件	—	3件	—	2件	—
平成24年度	7件	3件	3件	—	1件	—
平成25年度	6件	1件	2件	—	3件	—
平成26年度	8件	2件	1件	—	3件	2件
平成27年度	13件	4件	3件	1件	2件	3件
平成28年度	4件	—	—	1件	1件	2件

出典:桑名市

桑名市の現状

2. 成年後見制度にかかる相談機関など

〈サポートセンター〉

- ・ 桑名市福祉後見サポートセンター（桑名市社協）

〈市役所〉

- ・ 中央地域包括支援センター
- ・ 障害福祉課

〈地域包括支援センター〉

- ・ 東部地域包括支援センター
- ・ 西部地域包括支援センター
- ・ 南部地域包括支援センター
- ・ 北部東地域包括支援センター
- ・ 北部西地域包括支援センター

〈障害者総合相談支援センター〉

- ・ 障害者総合相談支援センターそういん
- ・ 障害者総合相談支援センターくわな
- ・ 桑名市社協障害者総合相談支援センター

※ほかに、市が実施の
「成年後見相談」
（毎月1回開催）がある

サポートセンターについて

名 称	桑名市福祉後見サポートセンター
運 営	社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会 (桑名市からの受託事業)
設 立	平成27年7月1日
業務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 法人後見の受任・ 成年後見制度にかかる相談支援・ 成年後見制度の市民への啓発・ 市民後見人養成及び支援 など
担当職員	3名 (いずれも兼務)
その他	桑名市福祉後見サポートセンター運営委員会 委員10名 (大学教授、弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、障害者総合相談センター所長、地域包括支援センター所長、介護サービス事業所代表、市地域介護課長、市障害福祉課長)

1. サポートセンターを開設した経緯

平成25年度

桑名市より、成年後見制度に関する事業について、社協にて受託できないか打診があった（法人後見の受任、将来的には、市民後見人養成等を含む）

平成26年度～

〈桑名市からの事業受託〉

- ・ 法人後見受任に備え、法人後見実施している社協への視察や聞き取り
- ・ 「法人後見運営委員会」（現：福祉後見サポートセンター運営委員会）を立ち上げる（委員9名） ※事務局として、社協に加え、市職員も入る
- ・ 各種要綱等を整備する
- ・ 初年度実績…法人後見受任 2件
- ・ 「桑名市成年後見制度推進シンポジウム」を開催（市と共催）

「桑名市成年後見制度推進シンポジウム」

◎第1回（平成26年度開催）

日時：平成27年1月31日（土） 午後1時30分～午後3時45分

会場：桑名市民会館 小ホール（300名収容）

内容

基調講演

「成年後見制度」について

講師：弁護士 熊田 均氏

パネルディスカッション

「成年後見制度の活用でいつまでの地域で
暮らしていくための支援について」

コーディネーター 貴島日出見氏
(鈴鹿医療科学大学教授)

コメンテーター 熊田 均氏

パネリスト 柴田良彦氏 (司法書士)

田邊 寿氏 (伊賀市社協)

西村健二

(桑名市中央包括支援センター社会福祉士)

参加者：177名

(内訳) 一般・その他 48 / 福祉関係 38 / 民生委員 35 / 包括職員 17

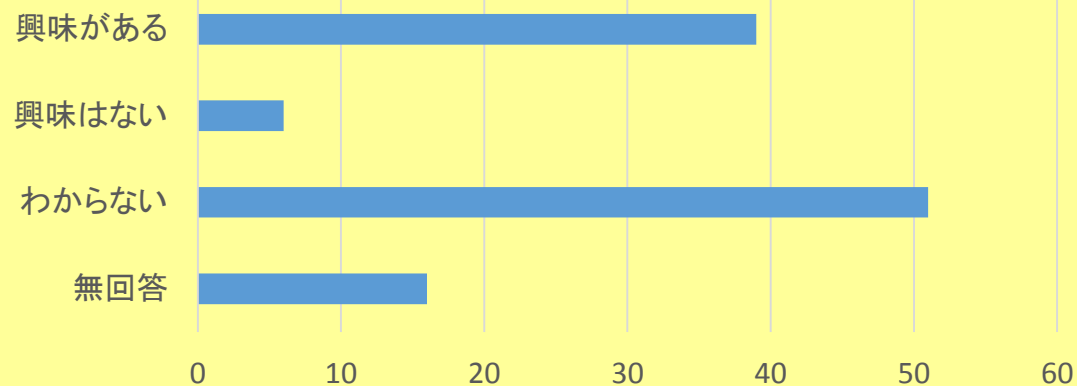
日常生活自立支援事業推進員・生活支援員 17 / 司法関係 (司法書士・行政書士) 7 (ほか)

「桑名市成年後見制度推進シンポジウム」

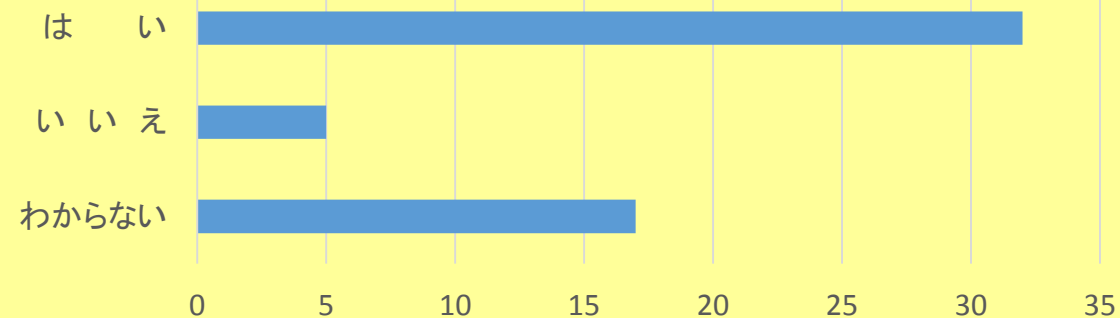
・参加者アンケートの実施（回答数：112）

⇒市民後見人の養成を念頭に置いていたため、市民の方の思いを知るよい機会

◆市民後見人として活動することについて



◆「市民後見人養成講座」を開催したら参加したいと思うか？



1. サポートセンターを開設した経緯

平成26年度

- ・ 視察研修の実施（香川県坂出市 社協職員 2 名、市職員 3 名 「坂出市成年後見センター」）
- ・ センターの運営、市民後見人の養成、活動

平成27年度～

◎平成27年7月 「桑名市福祉後見サポートセンター」の設立

【目的】

- ・ 「桑名市地域包括ケア計画」における、権利擁護事業として法人後見及び市民後見の提供体制の整備
- ・ 市民に対する成年後見制度及び制度関係事業の普及啓発をはかる

⇒地域福祉を推進する立場で、相談支援を実施する

- ・ サポートセンターの設立に伴い、要綱等の改訂や運営委員会の名称変更等を行う

「桑名市成年後見制度推進シンポジウム」

前回に比べて、「市民後見人」への期待や、実際の活動がイメージできるような内容にした

◎第2回（平成27年度開催）

日時：平成28年1月24日（日） 午後1時～午後3時

会場：桑名市総合福祉会館 大会議室

内容

基調講演

「成年後見制度を支える新たな担い手『市民後見人』の役割と期待」

講師：弁護士 熊田 均氏

パネルディスカッション

「成年後見人の活動
～わたしたちはこうして、活動しています～」

コーディネーター 貴島日出見氏
(鈴鹿医療科学大学教授)

コメンテーター 熊田 均氏

パネリスト 藤井由紀子氏 (社会福祉士)
市川しのぶ氏 (伊賀市社協)

参加者：94名

(内訳) 一般・その他 28 / 福祉関係 13 / 民生委員 9 / 包括職員 13

日常生活自立支援事業推進員・生活支援員 13 / 司法関係 (司法書士・行政書士) 5 (ほか)

2. 市民後見人の養成について

平成26・27年度

- ◎職員研修
- ◎先進地への視察研修
- ◎家庭裁判所への問い合わせ（直接）
 - ・市民後見人への受任は可能か？
 - ・市民後見人の年齢要件は？
 - ・市民後見人受任の際の社協（サポートセンター）の関わりは？
 - ・市民後見人養成講座のカリキュラム

平成27年度

- ◎養成講座の内容などについて検討（社協、市）
- ◎サポートセンター運営委員会での検討（検討内容）
 - ・受講者が集まるか？ 募集方法
 - ・講座の長さ
 - ・受講要件（年齢など）
 - ・修了要件

(ロ) 法人後見及び市民後見の提供体制の整備

平成27年度より、桑名市社会福祉協議会において、桑名市及び桑名市地域包括支援センターと一体になって、地域福祉を推進する立場で成年後見に関する相談支援を実施する「桑名市福祉後見サポートセンター」（仮称）を運営します。

具体的には、従前の「法人後見運営委員会」を改称して引き継いだ「福祉後見運営委員会」（仮称）の議を経て、引き続き、必要に応じ、法人後見を受任するとともに、法務・福祉専門職団体と連携しながら、

- ① 平成27年度より、「市民後見人養成講座」（仮称）
- ② 平成29年度より、「市民後見人ステップアップ講座」（仮称）

を開催する方向で、検討します。

この場合においては、「市民後見人養成研修カリキュラム及び実施に係る報告」（平成24年3月26日介護と連動する市民後見研究会）に盛り込まれた「市民後見人養成のための基本カリキュラム」を活用します。

資料:「桑名市地域包括ケア計画」 桑名市 p.384(一部抜粋)

養成講座の実施

- ・平成27年度 基礎編
- ・平成28年度 実践編

(ロ)法人後見及び市民後見の提供体制の整備

平成27年度より、桑名市社会福祉協議会において、桑名市及び桑名市地域包括支援センターと一体になって、地域福祉を推進する立場で成年後見に関する相談支援を実施する「桑名市福祉後見サポートセンター」(仮称)を運営します。

具体的には、従前の「法人後見運営委員会」を改称して引き継いだ「福祉後見運営委員会」(仮称)の議を経て、引き続き、必要に応じ、法人後見を受任するとともに、法務・福祉専門職団体と連携しながら、

①平成27年度より、「市民後見人養成講座」(仮称)

②平成29年度より、「市民後見人ステップアップ講座」(仮称)

を開催する方向で、検討します。


この場合においては、「市民後見人養成研修カリキュラム及び実施に係る報告」(平成24年3月26日介護と連動する市民後見研究会)に盛り込まれた「市民後見人養成のための基本カリキュラム」を活用します。

3. 現状の課題と今後について

課題 ①

◎ 市民に向けた広報や啓発


「成年後見制度」や「桑名市福祉後見サポートセンター」について、知らない方がまだまだたくさんみえます

- 
1. 「ふくしの出前講座」（社協実施）
において「成年後見制度」をテーマに実施する
実績：1件（H28年8月まで）
 2. 「ふれあいトーク」（市実施）
実績：2件
 3. サポートセンターのパンフレット作製【今後】

課題 ②

◎ 職員の専門性向上

法人後見の受任してからまだ2年半、法人後見のケース対応のみならず、相談への対応、今後の市民後見人への支援など、職員の専門性を向上することが不可欠

- 
1. 法人後見を受任している法人のネットワークを構築する
 - ・ 県内の社協
 2. 運営委員である専門職の方に相談をする
さまざまな専門職の方がみえるので、会議以外のときでも必要に応じて相談する
 3. 研修の受講等

最後に

◎ 行政との連携について

桑名市での行政との連携について（一例）

- 桑名市福祉後見サポートセンター運営委員会
 - ・委員…10名のうち、2名が市課長
 - ・事務局…社協職員に加え、市職員（包括2名、障害福祉課2名）も入る
- 市民後見人養成講座
 - ・講師として、市職員の派遣
 - ・実施に際して、一緒にカリキュラムなどを検討
- 桑名市成年後見制度推進シンポジウム
 - ・桑名市との共催

など



行政の理解を得て、連携をとりながら、事業をすすめることが重要